

東芝がお勧めする Windows.

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝がお勧めする Windows.

2014.12
Windows タブレット

■ハードウェア仕様  はカスタムメイドサービスで選択できます。

モデル名・型番		S80/N		S50/M		S68/N		S38/M	
		PS80NSYK2L7AD41	PS80NSYK9L7AD41	PS50MSEK2L6AD41	PS50MSEK9L6AD41	PS68NSYK2L7AA41	PS68NSYK9L7AA41	PS38MSEK2L6AA41	PS38MSEK9L6AA41
本体標準価格		オープン価格(※30)				オープン価格(※30)			
プレインストールOS		Windows 8.1 Pro Update 32ビット(※1) Windows 8 インテル® Atom™ Z3735F プロセッサー 1.33GHz(インテル® パース・テック/ロジ 対応:最大1.83GHz) 4コア/4スレッド 2MB DDR3L-1333対応 SDRAM 0スロット(交換不可)(※2)				Windows 8.1 Pro Update 32ビット(※1) Windows 8 インテル® Atom™ Z3735F プロセッサー 1.33GHz(インテル® パース・テック/ロジ 対応:最大1.83GHz) 4コア/4スレッド 2MB DDR3L-1333対応 SDRAM 0スロット(交換不可)(※2)			
CPU	動作周波数 コア数/スレッド数 キャッシュメモリ 標準 仕様	タッチパネル付き 10.1型ワイド WXGA TFTカラー LED液晶 (広視野角/省電力LED/バックライト)1,280×800ドット(※3)(※4)(※5) 最大1,920×1,080ドット(※5)(※7)(※8)/1,677万色、HDCP対応 最大1,280×800ドット(※5)(※9)/1,677万色(※10) 最大984MB(メインメモリと共用)				タッチパネル付き 8.0型ワイド WXGA TFTカラー LED液晶 (広視野角/省電力LED/バックライト)800×1,280ドット(※3)(※4)(※6) — — 最大984MB(メインメモリと共用)			
メモリ	メモリアクセラレーター	インテル® HD グラフィックス(CPU内蔵)				インテル® HD グラフィックス(CPU内蔵)			
表示機能	ディスプレイ 解像度/外部ディスプレイ(HDMI接続)(オプション) 表示色 ビデオRAM	アクティブ静電結合方式 (専用デジタイザーペン付属)				アクティブ静電結合方式 (専用デジタイザーペン付属)			
入力装置	デジタイザー ワンタッチ操作ボタン タッチパネル	Windowsボタン、音量ボタン 他 静電容量式(マルチタッチ対応)				Windowsボタン、音量ボタン 他 静電容量式(マルチタッチ対応)			
補助記憶装置	ストレージ	32GB フラッシュメモリ(※12)	64GB フラッシュメモリ(※12)	32GB フラッシュメモリ(※12)	64GB フラッシュメモリ(※12)	32GB フラッシュメモリ(※12)	32GB フラッシュメモリ(※12)	64GB フラッシュメモリ(※12)	64GB フラッシュメモリ(※12)
通信機能	無線LAN(※13) Bluetooth(※13) ワイヤレスWAN	IEEE802.11a/b/g/n準拠 (Wi-Fi準拠、WPA/WPA2対応、WEP対応、AES対応、TKIP対応)(※14) Bluetooth® ワイヤレステック/ロジ Ver4.0(※16)(※17) — — —				IEEE802.11a/b/g/n準拠 (Wi-Fi準拠、WPA/WPA2対応、WEP対応、AES対応、TKIP対応)(※14) Bluetooth® ワイヤレステック/ロジ Ver4.0(※16)(※17) — — —			
サウンド機能(※18)	SDカードスロット(詳細は下記の表をご覧ください) インターフェース	インテル® ハイ・デフィニション・オーディオ準拠 ステレオスピーカー、ステレオマイク(※19)				インテル® ハイ・デフィニション・オーディオ準拠 ステレオスピーカー、ステレオマイク(※19)			
Webカメラ	センサー	ヘッドセット/ヘッドホン端子×1(※20)、microUSB2.0×1(※22)(※23) 有効画素数 約120万画素(前面) 有効画素数 約800万画素(背面) GPS、電子コンパス、加速度センサー、ジャイロセンサー リチウムポリマー(バッテリーパック)(※24)(※25)				ヘッドセット/ヘッドホン端子×1(※20)、microUSB2.0×1(※22)(※23) 有効画素数 約120万画素(前面) 有効画素数 約800万画素(背面) GPS、電子コンパス、加速度センサー、ジャイロセンサー リチウムポリマー(バッテリーパック)(※24)(※25)			
電源	バッテリー駆動時間 充電時間 ACアダプター	約7.0時間(※26) 約9.5時間(※27) 約6.0時間(電源OFF時)/約8.0時間(電源ON時)(※28)(※29) AC100V~240V、50/60Hz(※30) 約7W(10W) (※33)				約7.5時間(※26) 約10.5時間(※27) 約6.0時間(電源OFF時)/約8.0時間(電源ON時)(※28)(※29) AC100V~240V、50/60Hz(※30) 約5W(10W) (※33)			
標準消費電力(※31)(最大)	省エネ法に基づくエネルギー消費効率(※32)	温度5~35℃、湿度20~80%(ただし、結露しないこと)(※34) 約258.8(幅)×175.0(奥行)×9.1(厚さ)mm 約258.8(幅)×175.0(奥行)×9.1(厚さ)mm 約565g(※35) 約555g(※35)				温度5~35℃、湿度20~80%(ただし、結露しないこと)(※34) 約132.0(幅)×210.7(奥行)×9.6(厚さ)mm 約132.0(幅)×210.7(奥行)×9.6(厚さ)mm 約395g(※35) 約385g(※35)			
主な付属品	保証	ACアダプター、電源コード、取扱説明書、保証書 他 デジタイザーペン — — あり(引き取り修理・海外保証(制限付)1年)				ACアダプター、電源コード、取扱説明書、保証書 他 デジタイザーペン — — あり(引き取り修理・海外保証(制限付)1年)			
主なアプリケーション		Microsoft Office Home and Business 2013				Microsoft Office Home and Business 2013			

※1 プレインストールされているOSのみサポートいたします。 ※2 メモリの交換・増設はできません。 ※3 TFTカラー液晶ディスプレイは、非常に高度な技術を使用して作られています。非点灯、常時点灯などの表示(画面)が存在することがあります(有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示する全ドット数のうち、表示可能なドットの割合」です)。また、見る角度や温度変化によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。 ※4 液晶ディスプレイは特性上、外光が映りこむ場合があります。背景場所や角度を調整して使用ください。輝度は好みによって調整して使用ください。 ※5 横表示の場合。 ※6 縦表示の場合。 ※7 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。 ※8 コンテンツ保護処理された映像や音声もHDMI端子を使用して出力したディスプレイを使用してください。コンテンツ保護処理された映像や音声もHDMI端子を使用して出力したディスプレイを使用してください。 ※9 外部ディスプレイと本体のディスプレイを同時に表示させる場合は、同時表示の機能や設定は必ず確認してください。ディスプレイによっては映像や音声は本体内部ディスプレイと同時に再生することはできません。 ※10 本体のディスプレイの表示の明るさ、1677万色はデフォルトで表示です。 ※11 グラフィックアクセラレーターはバッテリー駆動時より、ACアダプター接続時に、より高い性能が発揮されます。 ※12 1GBを10倍(1バイトで算出)しています。すべての領域はNTFSで設定されています。 ※13 無線通信距離は、周辺の電波環境、障害物、設置環境、ソフトウェアなどにより影響を受ける場合があります。 ※14 5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56に対応しています。W52/W56は電波法令により屋外で使用するものではありません。2.4GHz帯無線LANで使用するチャネルは1~13chです。IEEE802.11n準拠のモードで通信を行うためには、セキュリティをWPA(AES)/WPA2(AES)に設定する必要があります。 ※15 2.4GHz帯無線LANで使用するチャネルは1~13chです。IEEE802.11n準拠のモードで通信を行うためには、セキュリティをWPA(AES)/WPA2(AES)に設定する必要があります。 ※16 Bluetooth Version 1.1, 2.0, 2.0+EDR, 2.1, 2.1+EDR, 3.0, 4.0対応機器との通信が可能です。 ※17 2.4GHz帯無線LANまたはWIMAXが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。 ※18 キャパシタソフトなどを使用して、本製品で再生中の音声を録音することはできません。 ※19 利用に耐えるソフトウェアや設定によって、モノラル録音となる場合があります。 ※20 4極ミニジャックタイプのヘッドセット、またはステレオミニジャックタイプのヘッドホンをご使用ください。マイクを使用するときは、4極ミニジャックタイプのヘッドセットをご使用ください。ただし、すべてのヘッドセットやヘッドホンに対応するものではありません。 ※21 映像機器との接続には、市販のHDMIケーブル(ミニDVI-D)のケーブルを使用してください。対応機器すべての動作を保証するものではありません。 ※22 USB1.1/2.0対応、USB2.0準拠機器すべてで動作を保証するものではありません。 ※23 市販のUSBケーブル(USB 2.0準拠、micro-B(3ピンタイプ))が必要です。 ※24 本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取り替はしや交換はできません。バッテリーパックが寿命などで交換が必要な場合は、弊社営業担当までご相談ください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。 ※25 バッテリーパックは消耗品です。 ※26 一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITA/バッテリー動作時間測定法(Ver2.0)」(http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=84&c=14)に基づいて測定。ただし、実際の動作時間は使用環境および設定などにより異なります。バッテリー動作時間の測定方法については、dynabook.comのサポート情報(http://dynabook.com/assistpc/index_j.html)をご確認ください。 ※27 一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITA/バッテリー動作時間測定法(Ver1.0)」(http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=84&c=14)に基づいて測定。ただし、実際の動作時間は使用環境および設定などにより異なります。 ※28 市販のUSBケーブル(USB 2.0準拠、micro-B(3ピンタイプ))が必要です。 ※29 バッテリー充電時間は、使用環境により異なります。 ※30 付属のACアダプターは、日本の法令・安全規格に適合しております。その他の国・地域ではご使用にできません。 ※31 OS起動後、アイドル状態、ディスプレイ輝度最大、バッテリー充電率、周辺機器接続などの消費電力です。 ※32 エネルギー消費効率は、省エネ法で定める測定方法により、測定された消費電力を省エネ法で定める合理理論値(単位: 円/消費)で除したものです。2011年度基準で表示しております。省エネ基準達成率の表示はA1は達成率100%以上200%未満、A1は達成率200%以上500%未満、AAは達成率500%以上を示します。 ※33 本製品は省エネ法対象外です。 ※34 環境条件に示している温度範囲は、性能を保証するものではありません。 ※35 本体(バッテリーパック)の主な付属品は、省エネ法対象外です。 ※36 X1ドットは、NTFSフォーマットと回復処理およびバックアップ/リストア機能の互換性があります。 ※37 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は必ずしもこれとは一致しません。 ※38 エネルギー効率に関する情報、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などにより変化します。対応エリアについてはこのホームページ「X1(クローンジ)」(http://www.nttdocomo.co.jp/service/data/x1/サービスエリアで確認ください。 ※39 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※40 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※41 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※42 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※43 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※44 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※45 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※46 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※47 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※48 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※49 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※50 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※51 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※52 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※53 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※54 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※55 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※56 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※57 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※58 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※59 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※60 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※61 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※62 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※63 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※64 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※65 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※66 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※67 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※68 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※69 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※70 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※71 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※72 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※73 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※74 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※75 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※76 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※77 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※78 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※79 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※80 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※81 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※82 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※83 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※84 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※85 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※86 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※87 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※88 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※89 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※90 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※91 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※92 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※93 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※94 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※95 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※96 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※97 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※98 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※99 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※100 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※101 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※102 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※103 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※104 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※105 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※106 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※107 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※108 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※109 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※110 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※111 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※112 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※113 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※114 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※115 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※116 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※117 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※118 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※119 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※120 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※121 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※122 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※123 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※124 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※125 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※126 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※127 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※128 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※129 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※130 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※131 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※132 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※133 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※134 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※135 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※136 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※137 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※138 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※139 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※140 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※141 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※142 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※143 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※144 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※145 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※146 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※147 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※148 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※149 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※150 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※151 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※152 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※153 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※154 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※155 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※156 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※157 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※158 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※159 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※160 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※161 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※162 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※163 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※164 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※165 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※166 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※167 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※168 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※169 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※170 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※171 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※172 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※173 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※174 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※175 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※176 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※177 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※178 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※179 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※180 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※181 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※182 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※183 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※184 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※185 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※186 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※187 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※188 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※189 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※190 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※191 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※192 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※193 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※194 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※195 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※196 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※197 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※198 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※199 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※200 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※201 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※202 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※203 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※204 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※205 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※206 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※207 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※208 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※209 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※210 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※211 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※212 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※213 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※214 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※215 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※216 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※217 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※218 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※219 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※220 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※221 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※222 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※223 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※224 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※225 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※226 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※227 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※228 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※229 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※230 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※231 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※232 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※233 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※234 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※235 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※236 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※237 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※238 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※239 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※240 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※241 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※242 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※243 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※244 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※245 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※246 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※247 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※248 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※249 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※250 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※251 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※252 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※253 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※254 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※255 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※256 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※257 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※258 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※259 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※260 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※261 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※262 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※263 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※264 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※265 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※266 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※267 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※268 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※269 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※270 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※271 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※272 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※273 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※274 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※275 プロ/バイダーとしてmopera U(mopera)で確認してください。 ※276 プロ/バイダー

紙のノートにはない、デジタルノートならではの便利さを追求。さまざまなビジネスシーンに役立つ必携ツール「^{トウルー}Tru シリーズ」搭載。

「Truシリーズ」アプリ **東芝オリジナル**

手書きノートアプリ

TruNote (トウルーノート)

「TruNote」は、ペンで書き、間違ったら消す、といった一連の作業がスムーズ。左利きでも快適に書けるよう、画面設定を変更できます。

S80 **S68**

キャプチャアプリ

TruCapture (トウルーキャプチャ)

「TruCapture」は、ホワイトボードや資料などを撮影して画像でメモ。活字をテキスト化してメールなどに再利用できます。

S80 **S50** **S68** **S38**

※搭載される機能はモデルにより異なります。

ボイスレコーダーアプリ

TruRecorder (トウルーレコーダー)

「TruRecorder」は、本体内蔵のマイクと連携し、話し手ごとの発言を識別して再生することも可能です。

S80 **S68**

プレゼンのアイデアや会議のメモを素早く書き留められる。後からの変更も自由自在

紙に書くほうがラクなのは？

書きたいときにすぐメモが取れる

TruNote

ロック画面でも、ペンにある消しゴムボタンを押しながら画面をタップすれば、すぐメモが書けます。アイデアや気づきを忘れないうちに残せ、書いたメモは自動で「TruNote」に保存されます。

サインインしなくても、メモを取ることができる

紙に書くほうがラクなのは？

好きなペン、好きな色、好きな太さから選べる

TruNote

ペンの種類や文字の色、太さを自由に選ぶことができ、自分の好みや書きたい内容に応じて、ペンを設定することができます。

万年筆、サインペン、マーカーなど好きなペンが選べる

ペンの色が選べる

ペンで書いたら消せない？

書いた文字の色や太さを後から自由に変更可能

TruNote

書いた文字の色や太さを後から自由に変更できるので、忘れないために強調したり、色分けして情報を整理することなどもできます。

変えたい文字を選択

色や太さを変更

ノートはどれくらい残せる？

最大1,000冊のノートを保存可能。1冊は1,000ページまで

TruNote

1台のタブレットに、最大1,000冊もののノートを保存できます。1冊は1,000ページまで使えるので、残りのページ数を気にせず、たっぷり使うことができます。また、共有したいページは、PDFファイルに変換して保存できます。

※実際に保存できる冊数やページ数は、ノートデータの容量や内蔵フラッシュメモリの空き容量により異なります。

ペンで書いたら消せない？

消したり、切ったり、貼ったり、入れ替えたりできる

TruNote

書いた文字を消したり、切り取って別の場所に貼ったり。文章の編集が、自在に楽しめます。

移動したい部分を選択

好きな場所に貼りつけられる

どこにメモしたか忘れたら？

プレミアム機能 文字やマークをノート内検索してメモしたものを手書きで探せる

TruNote

検索したい文字やマークを手書きして、該当する文字やマークを含むページを一覧表示させることが可能。欲しい情報を素早く検索できます。

検索したいマークを手書きする

そのマークを含むページが一覧で表示される

※手書き検索は、手書きデータを自動的に認識した結果に基づいて行われます。意図した結果と異なる場合があります。

撮影した画像メモを見やすく補正したり、文字をテキスト化して社内で情報共有

結局PCで打たなくちゃいけない？

プレミアム機能 手書き文字をテキストデータに変換して活用できる

TruNote

手書きした文字をテキストに変換することが可能。メールやOfficeアプリなどに貼りつけて再利用することができます。

テキスト化したい文字を選択

テキストデータ化された文字が貼りつけられる

※意図した結果と異なる表示となる場合があります。

もっと簡単にメモする方法はない？

ホワイトボードや黒板などを撮影してノートに貼りつけられる

TruNote

TruCapture

ホワイトボードや黒板などを撮影し、位置やサイズなどを調整してノートに貼付。写真にメモなどを書き込むことも可能。黒板を撮影した場合、読みやすいように白黒反転できます。

「TruNote」から「TruCapture」を起動し、ホワイトボードを撮影

位置やサイズを調整してノートに貼りつける

もっと簡単にメモする方法はない？

斜めから撮影した画像や本の歪みなどをまっすぐに自動補正できる

TruCapture

ホワイトボードなどを斜めから撮影して台形状になった画像を長方形に補正(台形補正)したり、本の傾きや厚みによって生じる歪みをまっすぐに補正してくれます。

ホワイトボードを斜めから撮影

台形補正表示

※ 搭載される機能はモデルにより異なります。Windows ストアより最新版をダウンロードインストールしてご利用ください。撮影環境、撮影した画像の文字やフォント、大きさ、鮮明さによっては、認識誤りが生じる場合があります。

プレミアム機能

本マークの付いた「TruNote」の「プレミアム機能」は有料となります。「TruNote」の「プレミアム機能」は、Windows ストアにてご購入いただけます。

無線LAN / Bluetooth®に関するご注意

本製品の使用周波数帯は2.4GHz帯または5GHz帯です。2.4GHz帯の周波数帯は電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場での製造ラインなどで使用されている免許を要する移動体識別用の基地局無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

※無線の電波の通信距離は、壁の材質・見通し、また環境などの条件により異なります。隣接する部屋でも通信できないことがあります。通信距離についての保証はできませんのでご了承ください。 ※W52/W53は、電波法令により屋外では使用できません。 ※無線LANではセキュリティの設定を行うことが非常に重要です。詳細についてはhttp://home.jeita.or.jp/page_file/20110510155841_KMAZEPqBfB.pdfをご覧ください。

■無線LAN / Bluetooth®対応地域 海外で無線通信機器を使用する場合は、使用される国/地域の無線規格を取得している必要があります。無線規格を取得している国/地域に関する情報はdynabook.comをご覧ください。また無線規格を取得していない国/地域ではPC本体の無線通信機能をOFFにしてください。詳しくは各種説明書をご覧ください。

- ①本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ②万が一、本製品と「他の無線局」との間で電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または製品の運用を中止(電波の発信を停止)してください。
- ③その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社営業担当までお問い合わせください。

結局PCで打たなくちゃいけない？

プレミアム機能 手書きの文字や表、図形をPowerPointやWordにコピー＆ペースト

TruNote

文字だけでなく、手書きの表や図形を整形して、PowerPointやWordに貼りつけることが可能。プレゼン資料などを効率よく作成できます。

必要の手書き部分を選択

整形された文字、表、図形が貼りつけられる

※手書き文字と基本的図形および表の手書きデータを自動認識して整形します。意図した結果と異なる場合があります。

もっと簡単にメモする方法はない？

撮影した書類の文字を認識して、自動でテキスト変換

TruCapture

手持ち資料を撮影して、文字をテキストデータに変換することが可能。メールやOfficeアプリなどに貼りつけることができます。

撮った写真の中にある文章をテキスト化

テキストデータに変換された文字が別枠で表示される

※意図した結果と異なる表示となる場合があります。

会議や講習会を全部メモするのは難しい？

音声进行分析して、話し手を識別。話し手ごとに発言を聞ける

TruRecorder

ボイスレコーダー「TruRecorder」を搭載。1レコード最大約3時間録音でき、会議の発言を録音可能。音声进行分析して話者を識別できるので、特定の話し手だけの発言を聞くこともできます。

話し手ごとに色分けされ、特定の話し手の発言のみを再生できる

※録音環境(騒音、声の大きさなど)によっては、話者識別の性能に影響します。 ※録音中にマイクの方を変えたり、話し手が移動した場合、話者識別の性能に影響します。

無線LAN	2.4 DS/OF 4
Bluetooth®	2.4 FH 1